

安心・安全
住み続けられる
住居環境

知ら咲か



2016 NOVEMBER NO.42

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>
連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

今年で4回目の「粗大ごみ回収」

準備から実施までの反省と成果報告

「できる人が、できることを、できるだけ」の精神の一環で今年も「粗大ごみ回収」を10月13日(木)に実施しました。今号では3ページにわたり特集記事を掲載します。

◆経費は効率的に

今年度実施に当たり去年の反省を鑑みながら、半年ほど前から意識を取り組んだ内容を報告したいと思いません。

「できる人が、できることを、できるだけ」の精神の一環で今年も「粗大ごみ回収」を10月13日(木)に実施しました。今号では3ページにわたり特集記事を掲載します。

「できる人が、できることを、できるだけ」の精神の一環で今年も「粗大ごみ回収」を10月13日(木)に実施しました。今号では3ページにわたり特集記事を掲載します。



昨年(平成27年)の広報誌で報告させてもらった2万円を超す持ち出しになったこと、個人的にも残念でしたしもっと計画性をもった取り組みの結果も違つたのではないかと大いに反省させられました。そんなこともあり経費を抑えながら尚且つ会員様方にもメリットがあるようにできないものかと話し合いを重ねました。賛否両論はありましたが今年「会員様には会費と同額の3,000円までの粗大ごみ廃棄費用は無料」にしよう。会員で良かったと思っただけのメリットを作りました。

当然ながらその分収入額が減少するので去年のような業者の言いなり価格でトラック等の調達はできません。

かなりハードな階段おろし



◆クリーンセンターに相談
最初は宝塚市の指定業者に見積もりを取ってみようぐらいいしか思いつきませんでした。けれどほかにも同じように粗大ごみを取り組んでいるところもあるはずだし何か策はないものか?それは宝塚市クリーンセンター管理課さんへかけた電話が大きく道を開いてくれました。「知ら咲か」の取り組みを説明したうえで助言を求めたところ意外な返答がありました。市の指定業者を使ってもらわなくても条件をクリアしてもらえれば個人的に粗大ごみを持ち込むのと同じ扱いをしますとのこと。粗大ごみの持ち込みについては苦情めいたものが結構あるようで市側も譲歩できる範囲で市民に寄り添ってきています。後日、クリーンセン

積載率を計算しての積み込み



ター管理課さんに出向きいろいろご助言もいただき印象としては印象としては非常に好意的だったと感じました。ただのちの持ち込み予約する際何度か「えっ」と思うことが。これには多少閉口しましたが部署間が離れているせいでもうしても横のつながりが悪いように強く感じました。(二面へつづく)

利用者様対応、運搬、積み込みを分担



粗大ごみ 回収方法まとめ

今後各自自治会・管理組合様方が単独で粗大ごみの廃棄をされるかもしれないのでその方法をお伝えしておきます。

*自治会・管理組合単位で廃棄物を持ち込む。

*どなたが何を廃棄するか一覧表にして廃棄時に提出。(廃棄できない商品は返却されるので誰の持ち物かを明確にする)

*廃棄自体が自治会長、管理組合理事長が承認している

*持ち込み予約する際、だれが持ち込むかを明確にする

*午前中は1t車未満、午後からはそれを超えても可能

現在、マニュアルは無いようですがこのようなことを

(左)各戸から下ろし積み込み



粗大ゴミ回収実績 (収支含む)

項目		27年度	28年度	増減比較	%
参加マンション数	棟	7	8	1	114
申込み戸数	戸	41	50	9	122
内会員申込み戸数	人	5	18	13	300
申し込み回数	個	記録なし	177	—	—
利用料収入	円	116,200	74,300	-41,900	—
回収業者等支払い	円	140,000	75,930	-64,070	—
収支	円	-23,800	-1,630	22,170	—

クリアーにすれば快く対応していただけです。このような条件を解決すべく「白瀬川両岸住宅協議会」に参加する自治会・管理組合の代表者の方々に説明をさせていただきご理解をお願いしました。問題点を少しずつ解決し、迫りくる受け入れ時間と闘いながら一時は本日中に持ち込めなくなるような段取りの悪さに落胆しながらも最終的に市側の受け入れに助けられながら今年の「粗大ごみ」劇場は終了した次第で

《今回感じたこと お節介
かもしれません》

残念だけど作業するメンバーの老いに伴いつつまでも続けられそうにもない。やはり個人的には各自自治会・管理組合が逃げないでごみ対策に真摯に取り組んでほしい。

物を買うにもお金はかかるけど大型ごみは買う以上に廃棄にお金がかかるという自覚を持たないと。捨てれば捨てるほど部屋が広くなり掃除もしやすいけど思い出のあるものは捨てるににくい。

最後に来年のためにも、もう一度管理課さんを訪ねて、今回の対応のお礼と提言をさせていただこうと思っております。

◆事業収支は大幅に改善

- ① 今年には全てのマンションから申込みが得られました。
- ② 申込戸数は約20%増加しました。
- ③ 会員様からの意見を反映して、会員に対する特典を設けました。
- ④ 自治会管理組合の協力が得られ、回収業者の変更により費用は大幅減少しました。

粗大ごみ回収を活用

知ら咲か一会員より

待ちに待った粗大ゴミ回収の日、我が家のトランクルームの荷物の半分はもう何年も使用されていない物ばかり、もったいないとか、ひよっとして使うかとか、これは、大切だからと・・・トランクルームに入るたびにため息が出る程の荷物。

カーペット、昔に使っていた掃除機、壊れているデツキ、ラジオ、食器、ゴルフのクラブ、大きなトランク等々、普通のゴミには、出せない壊れたものや、必要としない物ばかり全部もう何年も使っていないものばかり。家の中にも沢山有ります布団、毛布、いつか処分しようと思っていたもの、今思いきって出しました。何年も重宝して使用してきたものばかりです。

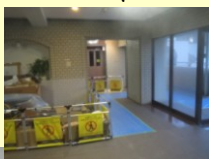
「知ら咲か」の会員なので殆ど無料で済みました。感謝しています。

一人で運べない大きな家具も運んでもらって、助かりました。又、来年の粗大ゴミの日が楽しみです。家の中の冷蔵庫、食器棚、タンスの中、押し入れの中、きれいに整理して、風通しよくしていく事で気持ちも、すっきりしたいと思えました。

回収余話

事務局アヴェルデ担当員

今回の回収日、10月13日はアヴェルデのエレベーターリニューアル工事のため、3番館と5番館のエレベーターが全面ストップしました。そのため、アヴェルデでは事前回収して担当員宅や車のトランクに保管して当日を迎えました。従って開始時間の8時30分にはすべて回収品全部が揃っていました。



捨てる前に考えたこと

先月「知ら咲か」の粗大ごみを利用させてもらった際、ずいぶん悩んだ品物がありました。

◆羽毛布団

もうかれこれ10年近く使っている羽毛布団です。半年ほどしか使わなもののなのでどうも昨年から保管の仕方がよくなかったみたいで何か句うんです。ちよつと獣のようなにおいが。どうしても被る形になるので鼻に近く気になる。もう10年近くにもなるし捨てるよいかと、思って粗大ごみアンケートに捨てるものの項目に「布団(2枚まで)」①と書き込みました。

◆気になって・

けれどなぜか気になる。決して捨てるのが惜しいわけじゃないんだけど・・・そうだ、クリーニングに出してみようか？ネットですとこの足踏んでしま

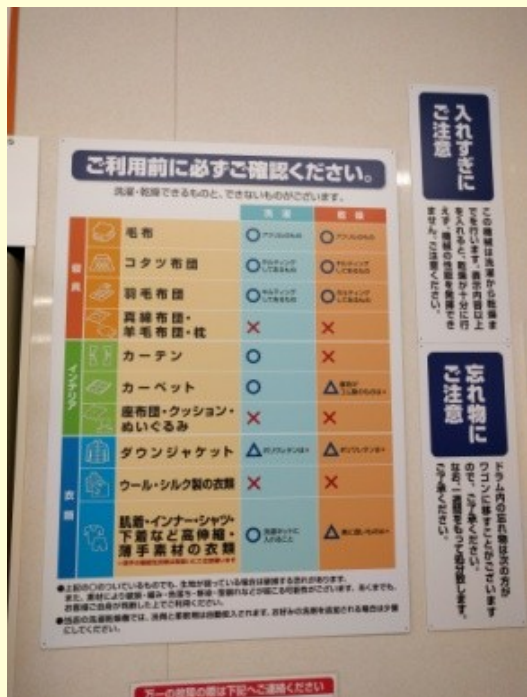


う。けれど、同じようなことを思う人は多いみたいで「コインランドリーで洗ってるよ」という内容のページがあふれた。過去一度も使ったことのない私にはちよつとしたハードルが。誰が使ってるか分からないしペットの洗い物と一緒にやさすがに抵抗があるしなあと数日悩んだ末、一度洗ってみよう、ダメなら捨てればいいしあきらめもつくだろうしと。また、ネット検索、近所に数件あるみたいだし駐車場のあるコインランドリーに

行ってみました。

◆コインランドリー

何分、今まで使ったことがなかったので使い方も分からず右往左往しているとお店の方が洗濯槽の掃除にいられていろんなことを教わりました。今回お世話になったコインランドリーはオープン1年ぐらいだそうで何しろ清潔感100%、毎日数回洗濯槽を掃除されるそうだし利用者がボタン一つで洗濯槽を洗うこともできる優れたもの。イメージ一新された印象です。操作は簡単で全くの



機械任せで1時間程度で洗いと乾燥が終了。ただ、羽毛布団は中が乾きにくいということと40分間追加乾燥しました。占めて1200円の出費です。念のため帰ってから天日干しや室内干しをして完了。嫌なにおいも全くなくふわふわ感がよみがえり満足度100%。

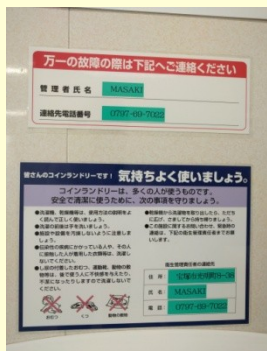
◆イメージが変わる

今回のコインランドリーの利用でイメージも変わり、何よりも大型のものを洗うのには家庭の洗濯機など到底太刀打ちできないすぐれものでした。利用者の皆さ

繰らしの知恵募集

この記事のような皆様方の便利なヒントをお寄せください。

「知ら咲か」ホームページの問い合わせで内容と連絡先をお知らせください。



んはご近所の方は洗濯機を回して一時帰宅、あるいは「すぐそばのダイエー(イオン)へ買い物して戻って来られてるみたいでした。店舗のオーナーさんともいろんな話もでき、知らないことも知れてこれはこれで結構楽しい時間でした。



白瀬川と逆瀬川の合流点、宝塚ゴルフ場からアヴェルデまでの白瀬川沿線コースは普通に歩くコースです。

私の散歩道 白瀬川沿いコース ゴルフ場～アヴェルデ

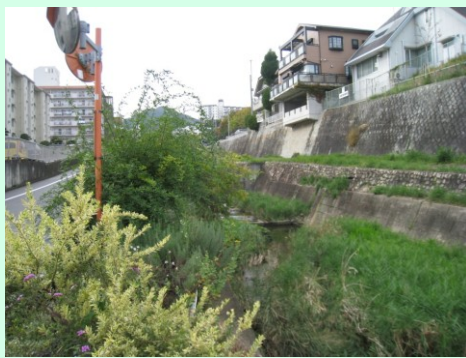


ファミリーマートの地点から逆瀬川マンション北側に出て白瀬川沿いを歩きます。このあたりには四季折々の花が目を楽しませてくれます。



白瀬川橋から見るガソリンスタンド・エネオス裏の景色は四季折々に色が移り変わります。

少し上がった所、逆瀬台住宅の向かいに見えるのが逆瀬台郵便局。このあたりにも花がよく咲いています。



逆瀬川マンションの対岸も白瀬川橋からこの向かい迄、いい散歩コースです。



逆瀬台マンションにかかると、逆瀬台センター方面へのメイン道路が通る白瀬川橋と交差します。



逆瀬台住宅付近の川床には自然に生えている植物や園芸種とりまぜ多くの植物が生息しています。



橋のたもとから上流を眺めるとかなりの勾配になっています。白瀬川ブロック主催のグリーンハイキングの集合場所はこの付近です。グリーンハイツの横あたりでは春にはスマイレの花が咲き誇ります。





ツクサンド」も格別のおいしさです。

パークマンション 野外サロン

午後のふれあいサロンひまわり

台風一過、
青空が広がる
爽やかな秋晴
れの日に、ゆ
ずり葉「森の
広場」でのサ
ロンです。
久しぶりの
広場は心地よ
い風があり、
日頃の疲れも
天高く飛び去
ってゆくよう
でした。
森で皆さん
といただく特
別な「ピクニ
ック



楽しいひとときを過ごし
ているそんな時に、ベンチの
下に潜んでいたのか足元か
ら枯れ木と見まちがう30
〜40センチの闖入者が、く
の字にスルースルーと通り
抜け、若い？悲鳴が上がるハ
プニングもありましたが、広
報「たからづか」10月号の
表紙を飾った2丁目F氏の
愉快な話も飛び出し笑いに
包まれた時間の終わりは懐
かしい「旅愁」他を歌って広
場を後にしました。



広報に掲載された説明中の写真

【編集部補足】
文中のF氏は二丁目にお
住まいの深田さんです。
宝塚市のクリーンセンタ
ー施設見学指導員として、ポ
ランティアでセンターを訪
れる小学生や地域団体の皆
さんに施設案内と、ごみ問題
や環境問題について説明し
ています。



次回11月10日(木)は
健康講座「寒さに向けて気をつ
けること」を開きます。
(文) 宮部



若瀬橋から見る上流部分
には木々が茂り、森の自然に
近づいてくるのが感じられ
ます。山茶花やこぶし、ユキ
ヤナギなど四季折々に花が
咲いています。蝶や蝉、トン
ボなども数多くいます。



グリーンハイツ横の路は
若瀬橋の手前で急勾配にな
っています。西山住宅横から
は左岸に渡って上記「野外サ
ロンの帰り道」写真の歩道の
木々を潜り歩きます。



突き当たりから行者山へ
の登山コースになります。



対岸駐車場沿いも一応市
道です。



ゆずり葉の森広場からア
ヴェルデ対岸に出ます。そこ
に見えるのが白瀬堰堤です。

ゆずり葉緑地は皆さんのそして私の散歩道

阪急逆瀬台アヴェルデ 都築直幸

ゆずり葉緑地は六甲山系清水谷を源とし、北西から南東に向かって流れる逆瀬川に沿って、ほぼ長方形に造られています。

面積は1万7698㎡、平成3年(1991年)に一部の工事を残して公開、その後平成9年(1997年)に全てが完成しています。



緑地内は緩急の勾配のある遊歩道沿いの芝生内に、石彫作品、防災ミニユメント(後述)、東屋、遊具コーナー、ベンチ等が配置され、又樹木は季節が感じられるように落葉樹、常緑樹がほどよく配置されており、訪れる子どもから高齢者までが充分に楽しめるように造られています。

県道16号線から緑地のエントランスを通り中央の階段を上ると広い芝生に出ます。



そこには東屋が有り、周辺部には昭和19年(1994年)に「宝塚市制40周年記念事業」として5作家による石彫5作品が設置されました。ところが平成7年(1995年)1月17日の阪神淡路大震災により、その内の「帆」と題される作品が大きな損傷を受けました。1年後に損傷を残しながらも元の作者により修復され、震災の記念碑としてよみがえっています。



芝生の上(山側)には釣鐘状の「砂防ミニユメント」がそびえたっています。

「砂防ミニユメント」は、兵庫県の砂防の発祥地である逆瀬川に、兵庫県の砂防事業100周年を記念して平成3年(1991年)に建設されました。

内部の壁面には兵庫県の砂防の歴史や、砂防のはたらきを分かり易く解説したパネル等が展示されています。

その中に、「阪神大水害」発生の惨状を谷崎潤一郎が書いた小説「細雪」の中で、リアルに描かれた部分があり、その部分を切り取って展示しています。(訪れた際は是非、何処にあるか探してみてください)

*「阪神大水害」…昭和13年(1938年) 阪神地方を襲った未曾有の集中豪雨は

洪水や土石流を引き起こし、市内に巨石、流木、土砂があふれかえる状況となり、死者行方不明者あわせて695人という大惨事になりました。



「砂防ミニユメント」を山側に出ると、直ぐ右側に「鎮魂之碑」が有ります。碑の中には阪神淡路大震災で亡くなられた人と、碑の寄進者の名前をタイムカプセルに入れて格納されています。

又、碑の説明文を刻み込んだ石の裏側には、碑の形状がどのような意味を表しているのかの説明書きがあります。一度のぞいてみてください。碑は平成9年(1997年)に設置されました。



緑地に沿って流れる逆瀬川に設けられた堰堤(えんてい)の途中に段を造り流れを弱める)の工法には、よい積み、谷石積み、自然石積み等があります。説明看板が立っているとこもありません。

灯台もと暗し、まだ訪れたことがない方がおいででしたら、天気の良い日に散歩がてら、出かけてみてはどうでしょうか。



山のナラ枯れが目立ちます

山の様子が少し違う！と思っただ方は多いのでないでしょうか？

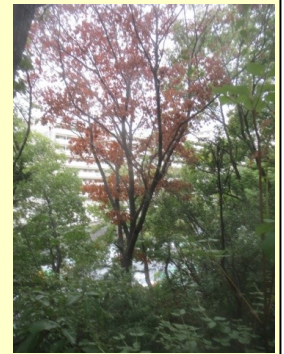
紅葉にはまだまだ早い7、8月頃から緑の山の中に色づいた木々が見られるようになりました。

左上の写真が今年のゆずり葉の森です。普段の紅葉とは少し異なる色でもありました。

その下の小さな写真は、いつもの年の全山が黄色く色づいた山の様子です。違いが出ています。



新聞でも掲載された「ナラ枯れ」がこの辺りでも発生していたのでしょうか。「ナラ枯れ」とは「カシノナガキムシ」とは「カシノナガキムシ」が病原菌を伝播することによって起こる樹木の伝染病の流行なのです。ミズナラ、コナラ、カシ類を中心としたナラ枯れは全国的に流行しているとのこと。兵庫県では北の但馬地域を中心に発生していたのですが、平成19年に丹波市、平成21年宍粟市、平成22年には神戸市東灘区、川西市、篠山市で、平成24年に西宮市、多可町で確認されました。宝塚市では平成25年に確認されました。



これがナラ枯れになったコナラの木です。(右写真) 一見、紅葉し落葉する頃の樹姿です。

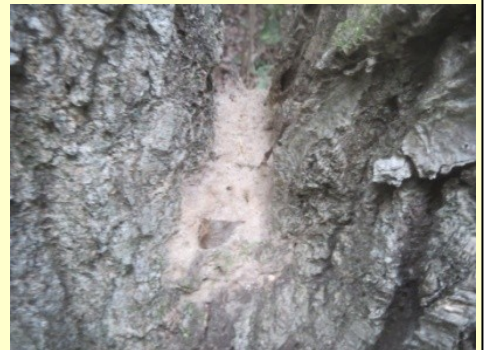
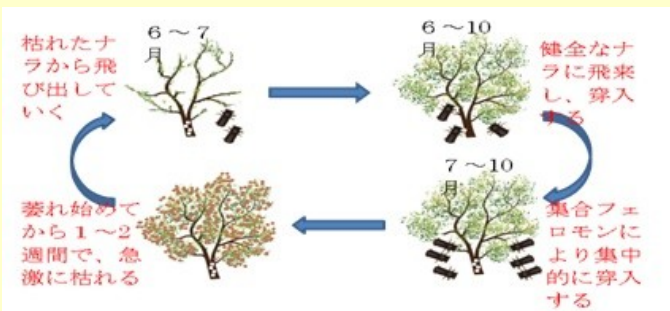
木の根元を注目してみます。



「カシノナガキムシ(略称・カシナガ)」の穿入によって発生した木屑(フラス)等が散っています。

正常な樹の根元にはこのようなフラスは見られません。ここからカシナガが樹に入ったのです。

ナラ枯れとカシノナガキムシの関係



別のナラ枯れになった樹を見て、やはりフラスがありま

ナラ枯れをもたらす菌はカシナガが移動し新たな樹に穿入する時に付いていき樹幹内に入ります。カシナガの孔道が密に形成されると、菌糸は孔道を伝って迅速に広がります。辺材木部の組織では、病原菌の菌糸が道管の中から生きている柔細胞の中に侵入し栄養をとりまわす。菌が観戦した部分の細胞は死んでいき材は褐色に変色します。

被害木の特徴

ア 7月下旬頃から9月上旬頃に、紅葉したように突然葉が赤くなる。

イ 紅葉が始まる前に被害木を把握する必要がある。

ウ 被害木の根元付近に、穿入により発生した大量のフラス(木屑等)が見られる。

エ 樹幹の大径部(高さ2、3m程度)にφ2mm程の穿入痕が多数みられる。

オ カシナガの密度が多くなると樹幹の高い位置でも穿入する。

カ 大径木や老齢木が被害を受けやすいと言われている。

キ 兵庫県等の資料等を参考に記述

白瀬の自然

こうやぼうきと水引草、菊

10 月から 11 月、ゆずり葉の森では「こうやぼうき」や「水引草」を目にします。いずれも、そう大きくはなくて地面にさりげなく生えて花を付けている感じがします。

こうやぼうきの茎は細長く弓なりに曲がっていて根元から多数伸びています。花を付けるのは 1 年目の枝だけです。1 つの頭花に 10~15 個の小花が付いています。一応、木ということですが見た目には木か草か分からない感じがします。

水引草は夏の終わり頃から茎の先小さな花を付け、その姿が進物用の水引に似ていることからそう名付けられたそうです。日本だけでなく中国、インドシナ、ヒマラヤ地方まで分布し漢名は金線草です。



上の自然の草花とは異なり華やかな彩りで秋を感じさせてくれる花が園芸種の「菊」です。

多くの方が趣味で競って見事な花に仕上げるべく丹誠込めて育てています。散歩中にも庭先に見事な花を見ることがあります。

野辺の小さな花に風情を感じたり、見事に咲かせた菊に感嘆したり、秋の楽しみ方もいろいろあるようです。



編集後記

年間の「知ら咲か」の活動の中で情報紙「知ら咲か」と並ぶ柱の一つである「粗大ごみ回収」を何とか終了できました。

入念に準備をしていたつもりであつてもプラン通りにいかないことがたくさんあります。白瀬川集合住宅協議会や各マンションの自治会、管理組合様にもご協力をいただき手続き面も順調に進めることができました。

問題は回収当日の時間配分でした。クリーンセンターは 3 時で炉の火を落とすために搬入のタイムリミットがあります。

住民の高齢化とともに、ボランティアさんの高齢化も仕方のなおことです。無理がきかない年齢を迎えている方も頑張つて手伝つてくれていきます。担い手の若返りが強く望まれることが分かりました。

今号では、私たちの住む環境、すなわち山や川、緑地などの記事を多くのページを割いて掲載しています。

すばらしい自然ですが、ナラガレの発生に見られるようにあつという間に普通の状態でなくなりそうです。どうしても対策が後になります。自然保護も結構、労力がかかるようです。我と思わん方に登場してもらいたいところですね。

ゴミの対象にしようかどうか悩んで知恵になった事例を掲載しました。知恵をお寄せ下さい。

(S)